



Japan Environment Association

JEA NEWS

財団法人 日本環境協会

ニュースレター No.37 2006年6月1日発行



「平成18年版環境白書表紙絵コンクール」

小・中学生の部 優秀賞《財団法人日本環境協会理事長賞》

鈴木 実紀さん(仙台市立吉成小学校)の作品 (関連記事 8ページ)

JEA NEWS No.37 目次

• エコマーク情報	2・3	• 地球環境パートナーシッププラザ(GEIC)	6
• こどもエコクラブ	4	• グリーン購入ネットワーク(GPN)	6
• 我が家の環境大臣	4	• 全国地球温暖化防止活動推進センター(JCCCA)	7
• スターウォッチング・ネットワーク	5	• 環境白書表紙絵コンクール	8
• 環境カウンセラー	5	• こども環境相談室	8
• 環境研究会	5	• 土壌汚染の相談窓口の開設	8
• 平成18年度協会予算	6	• JEA NEWSメールマガジン	8
• 藤本倫子環境保全活動助成基金	6		



エコマーク情報

■新認定基準「太陽電池を使用した製品Version1.0」

新しく制定したエコマーク商品類型No.135「太陽電池を使用した製品Version1.0」を紹介します。

太陽電池は、もともとクリーンなエネルギーを創出する環境負荷の少ない製品です。今回制定された基準につきましては、住宅用太陽光発電システムでは、長期間にわたって当初の高い水準を維持して発電すること、その他の製品群では太陽電池による発電で製品が適切に機能することを要件としました。

くわえて、商品カタログ等を通じて性能などの情報を入手できること、製品情報の問い合わせ先、保守点検や修理体制の整備およびそれらの情報提供を要件とするなど、製品の長期間使用を担保し、消費者の方に信頼感を与える内容を盛り込むことで、エコマーク商品を選択することがメリットになるような基準になりました。

新認定基準の対象範囲は、グリーン購入法に定める特定調達品目「設備」の「太陽光発電システム」分類の大部分を対象としているうえ、特定調達品目における判断基準に対して概ね同等以上の内容となっているため、新認定基準をクリアしたエコマーク商品は、今後グリーン購入法に適合する太陽電池を使用した設備機器を選択する際の有力な判断の目安となります。

対象商品は以下の通りです。

- 住宅用太陽光発電システム
- 小型発電装置・充電装置
- 設置型製品(住宅用・産業用・公共用製品)
- 携帯型製品(レジャー用品、日用品、文具・事務機器、教材・がん具)
- 車載用品(車用アクセサリ各種)
- 太陽電池モジュール
- 小出力太陽光発電用パワーコンディショナ

詳しくは、下記URL内にある各表をご覧ください。
ニュースリリース

→ <http://www.ecomark.jp/pdf/05-015.pdf>

商品類型No.135基準書

→ <http://www.ecomark.jp/pdf/135a-v1.pdf>

認定商品については、今後随時アップしていきますので、トップ画面(<http://www.ecomark.jp/>)の認定商品クイック検索でご確認ください。

■エコマークの新作リーフレット

●エコマークとグリーン購入法特定調達品目



エコマークの認定基準のグリーン購入法判断の基準との対応や該当するエコマーク商品類型番号を一覧できるリーフレット。
→ http://www.ecomark.jp/pdf/g_eco06.pdf
からもダウンロードできます。

●エコマーク商品を紹介するカタログ エコマーク事務局が監修しています。



●エコマーク商品カタログ
お問合せ先:株式会社チクマ秀版社
TEL03-3965-1411



●Green Station
お問合せ先:株式会社ファイン
TEL06-4704-5841

これからイベントシーズン! エコマーク認定商品をご活用ください

環境月間、消費者月間、地球温暖化防止月間などに環境に関するイベントをご計画の自治体やNPO、企業のみならず、エコマーク認定の商品・製品を是非ご活用ください。ご購入を検討の際は、トップ画面(<http://www.ecomark.jp/>)の認定商品クイック検索にキーワードを入力するなどして、ご希望の商品・製品をお探しください。

- マイバッグや景品の配布に……………バッグ、文具各種、その他小物
- 工作教室などの開催……………おりがみ、絵の具、糊、PETボトル用はさみなど
- 展示ブースで……………敷物、展示用額縁など

エコマーク普及のためにパネルの貸し出しもしています。お問い合わせください。(無料)

■第4回エコマーク商品の消費者モニタリング調査および認知度・信頼性調査結果

「エコマーク商品の消費者モニタリング調査および認知度・信頼性調査結果報告書」をこのたびまとめました。今年度で4回目を迎える本調査は、平成17年12月～平成18年1月末にかけて、(社)全国消費生活相談員協会の協力を得て、同会員600名(有効回答数=553名)に対して「エコマーク商品へのモニタリング調査」および「エコマークの認知度・信頼性調査」を実施したものです。詳細な報告は、エコマーク事務局ホームページに掲載しておりますのでご覧ください。

→ <http://www.ecomark.jp>

①エコマーク商品のモニタリング調査

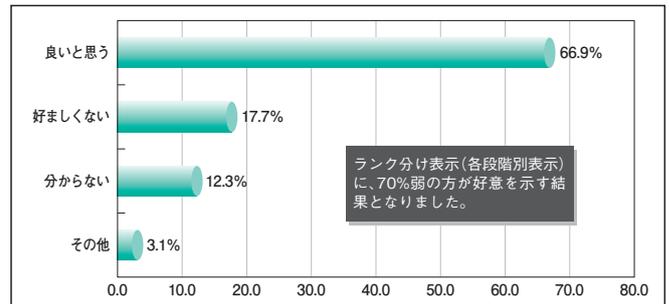
家庭内にあるエコマークの表示がなされた商品を対象とする「エコマーク無断使用・誤使用」調査では、報告数2,061件のうち、エコマーク無断使用2件(昨年度14件)、誤使用4件(昨年度4件)の計6件が確認されました。同調査開始以来4年連続の減少となっておりますが、今後も、エコマークの無断使用に対しては、厳格に対処していきます。

●エコマーク無断使用・誤使用に関する調査結果

調査項目	商品数	
	今年度	前年度
全商品報告数(A)	2,065	2,227
無断使用(B)	2	14
誤使用(C)	4	4
合計(D=B+C)	6	18
無断・誤使用率(D/A)	0.29%	0.81%

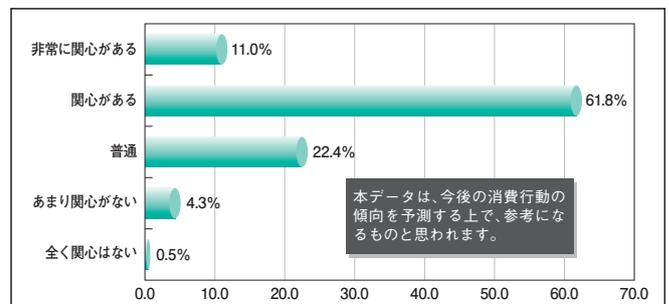
②エコマークの認定基準に幅を持たせて、エコマークにランク分け表示を導入した場合、どのように感じますか？(例えば☆☆☆の表示は、最高の環境配慮商品を示すなど)

●エコマークへのランク分け表示について



③最近テレビ、雑誌などのメディアで「LOHAS」という言葉をよく耳にしますが、そのような生活スタイルに関心がありますか？

●「LOHAS」のような生活スタイルへの関心度



世界のエコラベルNo.9 中国環境表示計画

今回は、日中韓環境産業円卓会議の基準の共通化の検討や相互協力の合意でエコマークと関係の深い中国のエコラベル、中国環境表示計画を紹介します。

1994年に運営が開始された中国で最も歴史のあるラベルです。ロゴは山と水、太陽が10つの円に囲まれたデザインで通称テンサークル(ten circle)と呼ばれています。

2008年開催の北京オリンピック会場建設に環境配慮が要件となっているため、ここ数年、関連商品の認定数が急増しました。現在中国政府は、グリーン購入法も策定中であり、エコラベルとの関連も注目されています。

- 設立年:1994年
- 運営主体:中国環境連合認証センター
- 性格:政府のラベル
- 商品類型数:54(2004年末現在)
- 認定商品数:18,000(2004年末現在)
- 企業数:910(2004年末現在)
- ホームページ:

<http://www.sepacec.com/SmallClass.asp?typ eid=33&BigClassID=82&smallclassid=63>

■国際協力活動:日中韓環境産業円卓会議 環境ラベルワーキンググループに参加

エコマークでは、昨年度より標記の環境ラベルワーキンググループに参加し、政府の環境担当者や中国環境連合認証センター、韓国エコプロダクツ行政院と共に日本、中国、韓国間でのエコラベルに関する共通認定基準について検討しています。

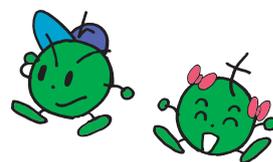
本年3月22日に中国・蘇州で開催されたワーキンググループでは、共通基準を検討する商品分野を筆記具、プラスチック製日用品、パーソナルコンピュータ、塗料の4分野としました。今後、各ラベル制度における該当分野の基準の対象範囲や環境基準の項目の情報を持ち寄り、共通コア基準案作成の検討を行う予定です。

エコマークニュース・メール版をお届けします!

エコマークニュース・メール版の登録は以下のサイトから行えます。最新基準や認定商品、エコマークにちなんだ情報やイベント情報などをお届けしています。

http://www.ecomark.jp/eco_mail/index.html

こどもエコクラブ



■サポーター&コーディネーター研修交流会を実施します

こどもエコクラブ事業をさらに推進・拡充していくため、昨年度好評をいただいた研修会に引き続き、今年度は札幌、東京、金沢、広島、熊本の全国5か所で研修交流会を開催します。

自治体のこどもエコクラブ担当の方と、日ごろ子どもたちを支えているサポーターの方を対象に、こどもエコクラブ事業の内容をより有効に活用し、地域の環境教育・環境学習のツールとして役立てていただきたいと思えます。また、こどもエコクラブ応援団の方の参加も可能です。ぜひご参加ください。

日 時		会 場	
7月4日(火)	10:00~16:00	熊 本	熊本県民交流館パレア
7月12日(水)	10:00~16:00	札 幌	札幌市環境プラザ
7月21日(金)	10:00~16:00	東 京	財団法人環境協会 会議室
9月20日(水)	10:00~16:00	広 島	中国環境パートナーシップオフィス (EPOちゅうごく)
9月27日(水)	10:00~16:00	金 沢	金沢勤労者プラザ



昨年の研修会の様子

- 対 象：自治体のこどもエコクラブ担当者(クラブ登録のない自治体の環境部局担当者の方も受け付けます)こどもエコクラブサポーター、こどもエコクラブ応援団、その他関心のある方
- 定 員：各会場あたり60名(先着順)
- 参加費：無料
- 内 容：1)こどもエコクラブの事業概要の説明と地域の環境活動における役割について
2)こどもエコクラブ事業を活用した自治体における環境教育・環境学習の充実の事例

※お申込および詳細はこどもエコクラブ全国事務局にお問い合わせいただくか、HPをご覧ください。

→ <http://www.env.go.jp/kids/ecoclub/index.html>

■平成18年度 こどもエコクラブ事業と参加募集について

こどもエコクラブは、次代を担う子どもたちが、人と環境との関わりについての体験を積み重ねながら、環境を大切にすることを育んでいくことを目的として、環境省が自治体との連携のもとに推進しています。平成17年度は約4,000クラブ、11万人の子どもたちがこどもエコクラブとして、自らの創意工夫のもと、身近な地域の中で自然観察や水質調査、リサイクル活動など様々な活動を繰り広げました。(活動の様子はこどもエコクラブHPにてご覧いただけます)

→ <http://www.env.go.jp/kids/ecoclub/index.html>

こどもエコクラブは幼児から高校生までの2人以上のグループと活動を支援する1人以上の大人を決めれば、

誰でも参加できます。登録・年会費は無料です。

平成18年度からは登録を簡素化して、毎年毎に登録しなくても継続して活動ができるようになりました。お申し込みは、お住まいの市区町村環境担当の窓口にお問い合わせください。

また、本事業についてのお問い合わせはこどもエコクラブ全国事務局までお願いします。



こどもエコクラブ全国事務局: TEL 03-5114-1251

我が家の環境大臣



■エコライフフェア2006に出展します！

子供から大人まで、楽しみながらライフスタイルを考えるイベント「エコライフフェア2006」に我が家の環境大臣ブースを出展いたします。我が家のブースに参加し、オリジナルノベルティをGetしましょう★

たくさんのご来場をお待ちしております！



- 日時
6月3日(土) 11:00~17:00
6月4日(日) 10:00~17:00

- 場所
都立代々木公園 ケヤキ並木
NHKホール前 (東京都渋谷区)

■我が家の環境大臣エコファミリーウェブサイトがリニューアル予定！

全国の家庭の楽しいエコライフを応援するエコファミリーウェブサイトが7月初旬にリニューアルし、さらにパワーアップします！！

エコライフは「おしゃれな新しいライフスタイル」というイメージを表現し、読み物・情報系コンテンツも現在の内容を一新！！さらにサイトの取り組みで貯まるエコポイントを実社会での環境保全活動とリンクする仕組みをリリースしていく予定です。

詳しくは今後エコファミリーウェブサイトでお知らせします。どうぞ期待★

→ <http://www.eco-family.jp/>



スターウォッチング・ネットワーク

■平成18年度夏期全国星空継続観察(スターウォッチング・ネットワーク)に参加しよう

平成18年度夏期の観察を次のとおり実施します。
観察実施期間:平成18年8月15日(火)~8月28日(月)
観察方法:①肉眼による天の川の観察

- ②双眼鏡を用いたこと座の観察
- ③星空の写真撮影

参加申込:各都道府県・政令指定都市・中核市の大気環境担当部局までお問い合わせ下さい。

詳細は、ホームページからご覧いただけます。

→ <http://www.env.go.jp/kids/star.html>

皆さんも星の見え方を調べ、大気の汚れや光害(街の明かりで夜空が明るくなること)について学んでみませんか?誰でも参加できますので、多くの方のご参加をお待ちしております!

■第18回「星空の街・あおぞらの街」全国大会が岩手県二戸市で開催されます

第18回「星空の街・あおぞらの街」全国大会が、下記の通り開催されます。

日時:平成18年8月26日(土)~27日(日)
会場:岩手県二戸市浄法寺文化交流センター
主催:環境省、岩手県、二戸市、
「星空の街・あおぞらの街」全国協議会

参加対象:全国協議会加入団体、本大会の趣旨に賛同する自治体、企業、住民

参加希望の方は、二戸市市民生活部生活環境課・二戸市企画政策室(TEL:0195-23-3111)までお問い合わせ下さい。



環境カウンセラー

■環境カウンセラー活動紹介 No.12

●滋賀環境カウンセラー協会

滋賀県主催による湖上体験学習に、滋賀環境カウンセラー協会会員の環境カウンセラーが講師として参加協力しました。湖上体験学習は、県民から参加者を募り、2005年8月から11月にかけて全5回、毎回100名あまりの参加者で、満員盛況のなか実施されました。

内容は、びわこを擁する滋賀県特有の環境をテーマに、観察や体験、実験や講演、ゲームなど多彩なプログラムによって、親子で楽しく解りやすく環境保全を考えるものです。



環境カウンセラーとは?

環境保全に関する取り組みについて豊富な実績や経験を有し、市民団体や事業者等に対してきめ細かな助言を行うことのできる人材として、環境省の審査を経て登録された方々です。現在4,126名が環境カウンセラーとして登録しています。

環境カウンセラーの活動紹介や、登録者の情報、応募方法等は、ホームページで紹介しています。

<http://www.env.go.jp/policy/counsel/index.html>

平成18年度環境カウンセラー募集

平成18年度環境カウンセラーを募集します。

募集期間:平成18年9月1日~30日

応募方法:ホームページをご覧ください。か、当協会環境カウンセラー担当までお問い合わせください。

環境研究会見学会

4月18日(火)、東京都スーパーエコタウンにある廃棄物処理・リサイクル施設を巡る環境研究会見学会を実施しました。今回訪問したのは、日本環境安全事業(株)、(株)リサイクル・ピア、バイオエナジー(株)の3社で、いずれも平成17年度に稼動を始めたばかりの新しい施設です。

日本環境安全事業(株)は、東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県、1都3県のエリアで、これまで保管されていたPCB廃棄物を、濃度に応じ、水熱酸分解や脱塩素化分解の方法で安全・確実に無害化しています。PCBが安全に除去された廃棄物は、資源としてリサイクルされます。

(株)リサイクル・ピアは、建築物の解体工事などから発生する建設混合廃棄物を処理する施設で、1日に1000tもの廃棄物を受け入れています。運び込まれた廃棄物は、先進技術によって、選別・処理されます。廃棄物に含まれ

る、砂利、土砂までもがリサイクルされ、既に90%近いリサイクル率を達成しています。

バイオエナジー(株)では、首都圏で出る食品廃棄物を、メタン発酵により分解処理し、発生したバイオガスを利用して発電することで、電気と熱のエネルギーにリサイクルしています。リサイクルのためには、厳密な分別が要求される、食品廃棄物ですが、こちらの施設では、10%程度までの不適物が混入されていてもリサイクルが可能ですということです。

参加された方からは、「参考になった」と高い評価をいただきました。



バイオエナジー(株)での見学

平成18年度協会予算

協会の予算が決まりました

財日本環境協会では、平成18年度の事業計画として、①子どもエコクラブ事業など、環境教育や普及・啓発の事業、②環境ラベリング(エコマーク)事業、③地球温暖化防止活動の推進事業、④土壌環境保全対策事業、⑤草の根の地域環境保全活動の助成事業などを重点に進めていくこととし、これに必要な予算として、36億3,067万円を計上しています。この額は、前年度予算の38億4,418万円に比して、6%減となっています。

これを勘定別に見ますと、1.一般勘定が12億5,393万円、2.環境修復・創造支援基金勘定が2,296万円、3.土壌汚染対策基金勘定が23億4,561万円、4.藤本倫子環境保全活動助成基金勘定が815万円の予算額となっています。

このうち、一般勘定の内訳をみますと、環境教育事業等の予算が3億8,943万円、エコマーク事業予算が2億8,000万円、地球温暖化防止活動推進事業予算が5億8,450万円となっています。

当協会では、本予算に基づき、環境省や地方自治体、関係団体・企業等の方々と連携しながら、持続可能な社会の実現のために努力してまいりますので、皆様方のご協力・ご支援をお願いします。

藤本倫子環境保全活動助成基金

このような活動に助成しています

藤本倫子環境保全活動助成基金では、日本国内で実施されている自発的で継続的な環境教育や、環境保全などの活動に対し活動資金の一部を助成しています。平成17年度では、市民を対象にした環境講座の開催、住民による地域の水質改善活動、マイバック推進活動などに助成をしました。当基金のホームページに過去に助成した活動の報告を掲載しています。



子ども環境講座の様子

平成18年度 助成先募集

藤本倫子環境保全活動助成基金では、平成18年度 第3回目の募集を、6月1日からスタートします。今回の応募では、平成18年10月上旬から、平成19年3月31日までに実施される事業が対象になります。

多くの方の応募をお待ちしております。

募集期間:平成18年6月1日~8月15日(当日消印有効)
交付決定:平成18年10月上旬

募集資格等の詳細については、「募集要項」をご覧ください。募集要項および申請書類は当基金のホームページから入手できます。

募集要項等の郵送をご希望の場合は、240円切手を貼った返信用封筒(角2サイズ)を同封の上、(財)日本環境協会藤本基金事務局までご請求ください。

→ http://www.jeas.or.jp/activ/prom_01_00.html

地球環境パートナーシッププラザ(GEIC)

地方環境パートナーシップオフィス開設について

環境パートナーシップの促進を目的に、地球環境パートナーシッププラザが生まれて今年で10年。参加と協働の重要性はますます高まり、環境省は平成16年度から「地方環境パートナーシップオフィス(地方EPO)」整備を開始しました。地方EPOは、それぞれの地域のパートナーシップの課題をよく知る民間非営利団体が運営を受託し、地方環境事務所と連携を図りつつ、地域の実態に応じた事業をすることで協働を生み出します。

16年度には中国(広島)、近畿(大阪)。17年度には中部(名古屋)と北海道(札幌)が事業を開始しました。現在、東北(仙台)、九州、四国の開設準備が進み、来年度までには、環境パートナーシップオフィスの全国ネットワークが生まれます。地方EPOには、地域を越えた交流や事業が期待されています。地球環境パートナーシッププラザには、地方EPOの要としての新しい役割が求められ、それに応じた事業の検討が行われています。地方EPOのウェブサイトは、

→ <http://www.geic.or.jp/>
からどうぞ。

グリーン購入ネットワーク(GPN)

「グリーン購入法データベース」と「GPNデータベース」が更新されました

平成18年2月28日(火)にグリーン購入法基本方針が一部変更され、平成18年度同法基本方針として閣議決定されました。平成18年度のグリーン購入法の変更にあわせ「グリーン購入法特定調達物品情報提供システム(グリーン購入法データベース)」の製品登録情報のデータを更新し、2006年4月28日(金)にGPNのホームページ → <http://www.gpn.jp> に公開しましたので、是非ご覧下さい。

今年度は、新たに「印箱、公印、鍵かけ」「記録用メディア、一次電池又は小形充電式電池」「電球形状のランプ」など新たに13品目が追加され、201品目から214品目に拡大しました。林野庁作成「木材・木材製品の合法性、持続可能性の証明のためのガイドライン」に準拠し、紙等、文具類、機器類、公共工事等、木材・木材製品について、合法性が証明されたものであることを判断の基準として追記されるなど、基準の追加・見直しも行われています。詳細は環境省ホームページをご覧ください。

また、16分野13,000商品を超える製品を掲載し、グリーン購入ガイドラインにそった商品の幅広い環境情報を公開している「GPNデータベース」も製品情報が更新されていますので、グリーン購入の参考情報源としてご利用下さい。

全国地球温暖化防止活動推進センター

■CO₂削減／ライトダウンキャンペーン「ブラックイルミネーション2006」の開催について

環境省では、2003年より温暖化防止のための、ライトアップ施設や家庭の電気を消していただくよう呼びかける「CO₂削減／ライトダウンキャンペーン」を実施してきました。

これは、「こうすれば地球温暖化を防げる」といった、ライフスタイル転換に対する“気付き”を伝えていくことが必要であると考え、その代表例としてシンプルなメッセージ『消灯＝スイッチ・オフ』を訴求するキャンペーン・イベントです。

夏をのちを中心として、2003年は、東京タワーを始めとする2,278箇所の施設にご賛同いただき、2年目の2004年は、6,088箇所の施設に協力いただくとともに、全国で

約640万人が参加しました。さらに2005年は、百貨店、コンビニエンスストアなどの賛同を得て、全国の22,716箇所の施設で一斉にライトダウンが行われ、参加者は約664万人となりました。

そして本年も引き続き、2006年6月18日(日)の夜を「ブラックイルミネーション2006」とし、夜8時から10時の2時間、全国のライトアップ施設に対し電気を一斉に消灯していただくことを広く呼びかけていくこととしています。

詳細は環のくらしホームページへ

→ <http://www.wanokurashi.ne.jp/>

■「地球温暖化防止のための環境学習プログラム」作成!

小・中・高等学校の教師や地球温暖化防止活動推進員などが、学校における地球温暖化に関する環境教育に活用できるように、指導者向け教材「地球温暖化防止のための環境学習プログラム」を作成しました。本教材を作成するに当たっては、検討会(座長:小澤紀美子 東京学芸大学教授)を設置し、教育関係者や専門家に検討いただくとともに、小・中・高等学校の先生方に執筆協力をいただくことで、実際に教える側に立った教材になっています。

教材は、学習者の問題解決能力や思考力、実践力を育てていけるよう、地球温暖化やその防止のための知識を単に教えるのではなく、地球温暖化とのつながりを、「水」、「エネルギー」、「食」といった子どもたちを取り巻く身近な生活から発想して学んでいけるようにしています。また、それぞれの学校や地域の特性に配慮して、柔軟にカリキュラムを発想できるように、「学習の流れ」を設定したほか、さまざまな要素の関連性を「ウェビング」という図を用いて示しています。

学習プログラムを深化させ、科学的知見を基礎にプロ

グラムを展開できるように、関連資料やワークシート例なども掲載し、CD-ROMにも収録しています。

教材は、学校関係者や環境学習に取り組んでいる個人・団体などに配布しています。また、HPからもダウンロードしていただけます。詳しくは

→ <http://www.jccca.org/kgprogram/tobira.html>

をご覧ください。



全国地球温暖化防止活動推進センター(JCCCA)

ストップおんだん館

ストップおんだん館では、子どもから大人まで、さまざまな対象に合わせたイベントを随時開催中!

昨年度は、世界各地の自然・文化などに触れる、シリーズイベント「世界おんだんか紀行♪」を開催しました。ゲストの生の声や参加型の内容が、「旅をしているようで大変良かった」と好評でした。

このように気軽に楽しいイベントを、今後も開催する予定です。夏休みには、キッズイベントも行います。ぜひチェックしてみてください!

イベント情報ページはこちら↓↓↓

<http://www.jccca.org/ondankan/event/index.html>



「2/4(土)西アフリカ編の模様」

今すぐできる地球温暖化対策 その4 アイドリングはできるだけしないように心がけましょう!

ちょっとした買い物や待ち時間に駐車する時も、車のエンジンは切りましょう。大気汚染物質の排出削減にも寄与します。1日5分アイドリングストップ行ったらとして:
=年間の二酸化炭素排出削減量:39kg



環境白書表紙絵コンクール ～平成18年版環境白書の表紙が決定しました～

環境省と当協会主催により、昨年8月から今年の1月末日まで、「環境にやさしい社会」をテーマに「平成18年版環境白書」の表紙をかざる絵を募集しました。

「小・中学生の部」971点、「一般(高校生以上)の部」260点もの環境への想いが伝わる作品が寄せられました。選考の結果、最優秀賞《環境大臣賞》には、徳島県 小学4年生の柏谷浩平くんと静岡県 高校2年生の加藤美里さんが、優秀賞《財団法人環境協会理事長賞》には、宮城県 小学2年生の鈴木美紀さんと香川県 高校3年生の井原慶子さんが受賞しました。

受賞されたみなさんは、3月29日に環境省にておこなわれた表彰式で、小池百合子環境大臣と加藤陸美理事長から表彰状が授与され、環境白書の表紙やエコライフフェアのポスターに採用されています。また、すべての受賞作品は、環境省のホームページで公開しているとともに環境省内MOE

ルーム(25階)で環境月間である6月末日まで展示しています。たくさんのご応募、ありがとうございます。

詳細については、ホームページからご覧いただけます。

→ <http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=6978>



柏谷 浩平 君
小中学生の部
最優秀賞



加藤 美里 さん
一般(高校生以上)の部
最優秀賞



井原 慶子 さん
一般(高校生以上)の部
優秀賞

こども環境相談室

新相談員の紹介



嶋田 和夫

「専門分野」水環境の保全、土壌浄化、廃棄物、化学物質

川の水や井戸水を飲み水や工場で使えるように処理したり、一度使って汚れた水を浄化処理して川や海へかえす仕事に40年間かかわってきました。この間に水の中や水辺から姿を消していった生き物たちがいる一方、川の水や地下水の中からは人々が作り出した様々な物質が見つかるようになってきました。水は私たちの暮らしと深く関わっています。今の子どもたちが大人になり、更にその次々…の世代まで安全で豊かな水環境を遺していくにはどうしたら良いかを子どもたちと真剣に話し合っていきます。



清 建太郎

「専門分野」大気、環境マネジメント・監査、廃棄物、化学物質、地球環境問題

以下は、耳の聞こえない子どもたちのための学校の校長先生のお言葉を、未熟にも書き換えたものです。子どもさんの相談にあたり、この言葉の実現に向け、努力を日々継続する決意です。

- ①相談に来られる子どもさんの目線に合わせる。
- ②言葉は、子どもさんの心に届ける。説明の言葉ではない。
- ③「子どもさんの相談は、神から与えられたもの。」との感謝の念が沸き出でる境地にまで到達する。

土壌汚染のご質問、ご相談をネットでお受けしています

当協会では、土壌汚染対策法に基づく指定支援法人として、土壌汚染対策法に基づき実施する土壌汚染状況調査や汚染の除去等の措置についてのご質問、ご相談をメールでお受けしています。

ご質問・ご相談をご希望の土地所有者などの方は、次のホームページをご覧ください。

<http://www.jeas.or.jp/dojo/form/form.php>

JEA NEWSメールマガジン

当協会では、本誌「JEA NEWS」に加え、「JEA NEWSメールマガジン」を発行し、協会関連行事などを、よりタイムリーにお伝えしています。

メールマガジンは、次のホームページで、ご覧いただけます。「JEA NEWS」共々、ご愛読よろしく申し上げます。

<http://www.jeas.or.jp/news/index.html>

編集・発行／財団法人 **日本環境協会** URL: <http://www.jeas.or.jp> e-mail: jea@japan.email.ne.jp

■麻布台オフィス 〒106-0041 東京都港区麻布台1-11-9 ダヴィンチ神谷町2F

(協会)
(エコマーク事務局 認証課)
(エコマーク事務局 基準課、普及課、国際協力課)
(全国地球温暖化防止活動推進センター(JCCCA))
(ストップおんだん館)
(こども環境相談室)

TEL.03-5114-1251 FAX.03-5114-1250
TEL.03-5114-1253 FAX.03-5114-1257
TEL.03-5114-1255 FAX.03-5114-1257
TEL.03-5114-1281 FAX.03-5114-1283
TEL.03-5114-1284 FAX.03-5114-1285
TEL.03-5114-1258 FAX.03-5114-1250

■青山オフィス 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-53-67 コスモス青山B2F
(グリーン購入ネットワーク事務局(GPN))

TEL.03-3406-5155 FAX.03-3406-5190

■地球環境パートナーシップ 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-53-70 国連大学ビル1F
プラザ (GEIC)

TEL.03-3407-8107 FAX.03-3407-8164

※6月1日よりビル名が「ダヴィンチ神谷町」に変更になりました



エコマークは
財団法人環境協会の
登録商標です。